

令和元年度 事業報告書

社会福祉法人白菊会
かみこまつ保育園

(1) 法人としての取り組み

- ①次世代管理層の育成に取り組んできたが、本年は移行準備の仕上げ段階として、行政・近隣校等、外部対応の練習を積んだり、将来課題への備え等準備を行う。
- ②職員の育成については、昨年に引き続き「キャリアアップ指導計画」に基づき、該当者にはキャリアアップ研修を本格的に受講させ、保育の質向上に粘り強く取り組んできた。しかし、なかなか研修の機会が多くなく、情報に乏しい状況が続いた。課題としてはこうしたキャリアアップ研修制度を重荷に感じる子育て中の保育士が複数おり、研修や職責が重いので副主任を降りたいと願う人が続出してしまうことへどう対応したらよいか悩んである。また、新卒採用がほとんど絶望的な状況が当面続くと考えている。
- ③また本年度は、増員される評議員の人選ほか準備を進め、選任解任委員会の開催に備え、無事に増員することができた。
- ④園庭の活用については、面積が少ないことから名案が浮かばず、なかなか進めることが出来ずにいたが、今年度は、ようやく職員合意のうえで、砂場を設置することが出来た。

*人員構成（看護師、主任保育士等を除く。）

年齢	クラス名	クラス定員 () 内は3/1実員	保育士配置数
0歳児クラス	ひよこ組	9名(9)	3名
1歳児クラス	あひる組	12名(11)	2名
2歳児クラス	ひばり組	12名(12)	2名
3歳児クラス	うさぎ組	12名(12)	1名
4.5歳児クラス	くま・ぞう組	25名(23)	2名
計		70名(67)	12名
一時保育	りす組	(~5名)	(2名(兼任))

職員---21名 ほか非常勤職員等13名

(2) 保育の報告

保育の内容は安全性を最優先に、人権に配慮しつつ、落ち着いた、基本に忠実な良質の処遇となるよう全職員で取り組み、保育指針への適応にも取り組んできた。なお、保育の詳細については、「2019年度 保育の報告書」を参照願いたい。

一時保育事業に関しては、本年度も葛飾区の事業「待機児童緊急対策事業」を引き受けたが、保育所増加にともなう待機児童減少を受けて利用はゼロとなった。

また子育てひろば事業では、近隣の児童会館の閉鎖に伴い、利用需要が増加傾向となるかと予想していたが、結果は例年並みであった。

不足する保育士育成の使命として、当法人では本年も養成機関の保育実習生を受け入れ、また中学生の職場体験や高校生の職業体験の受け入れも行ってきた。

(3) 給食・食育の報告

別紙「給食・食育の報告」を参照願いたい。

(4) 保健の報告

別紙「保健報告」を参照願いたい。

(5) 環境整備の報告

園庭の環境整備を実施した。

葛飾区児童の安全対策強化事業補助金を受けて、ベビーセンサーの導入を検討していたが、午睡表の改善など職員内で対応を進めたことや、活用のしづらさに鑑み、本年度末での導入を見送った。